

DAITO CHEMIX

平成27年3月期 第2四半期決算説明資料 (平成26年4月～9月)

ダイソーケミックス株式会社
平成26年10月28日

DAITO CHEMIX

将来見通しに関する記述について のご注意

DAITO-KISCO Corporation

Fukui Plant

Tokyo Office

Shizuoka Plant

Head Office

予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況や不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

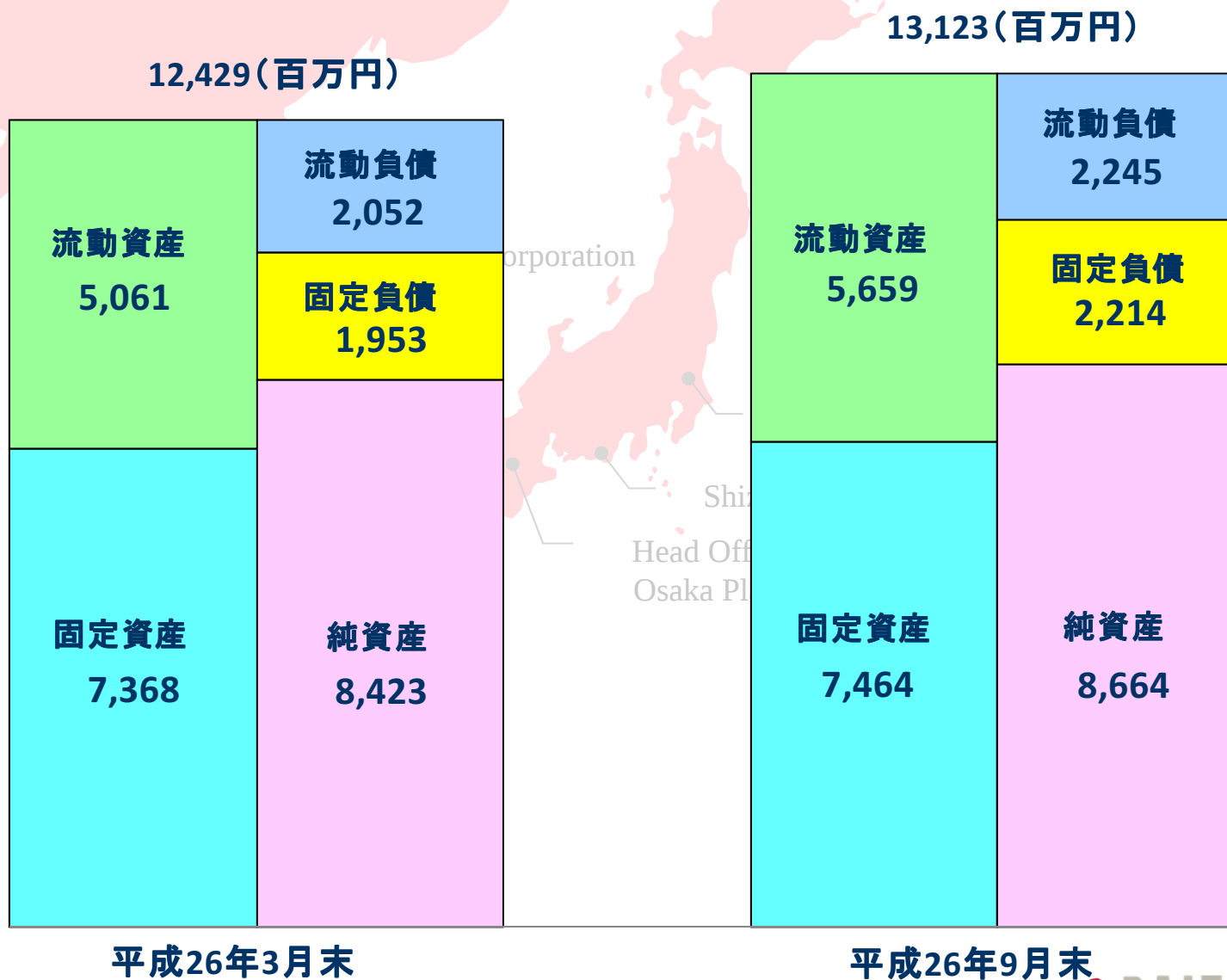
第2四半期 業績概要

(百万円、%)

		26年3月期	27年3月期	前年同期比	
		上期実績	上期実績	増 減	伸び率
売上高	化成品事業	3,607	3,653	45	1.3
	感光性材料及び印刷材料	2,759	2,940	180	6.6
	写真材料及び記録材料	500	343	△ 156	△ 31.3
	医薬中間体	296	330	34	11.5
	その他化成品	51	39	△ 12	△ 24.3
	環境関連事業	637	716	78	12.3
	合 計	4,245	4,369	124	2.9
売上総利益		443	486	43	9.7
営業利益	化成品事業	△ 13	27	40	—
	環境関連事業	45	85	40	89.7
	消去又は全社	2	3	1	66.7
	合 計	34	117	82	241.7
経常利益		91	139	48	52.7
税金等調整前当期純利益		83	159	76	91.6
当期純利益		75	138	63	83.9
1株当たり配当金(円)		0	0	—	—

D/

財 政 状 態



キャッシュ・フローの状況

(百万円)

1,500

1,000

500

0

Δ 500

■ 平成26年3月期上期

■ 平成27年3月期上期

276

921

88

Δ 83

224

Δ 129

営業キャッシュ・フロー

投資キャッシュ・フロー

財務キャッシュ・フロー

平成27年3月期業績予想

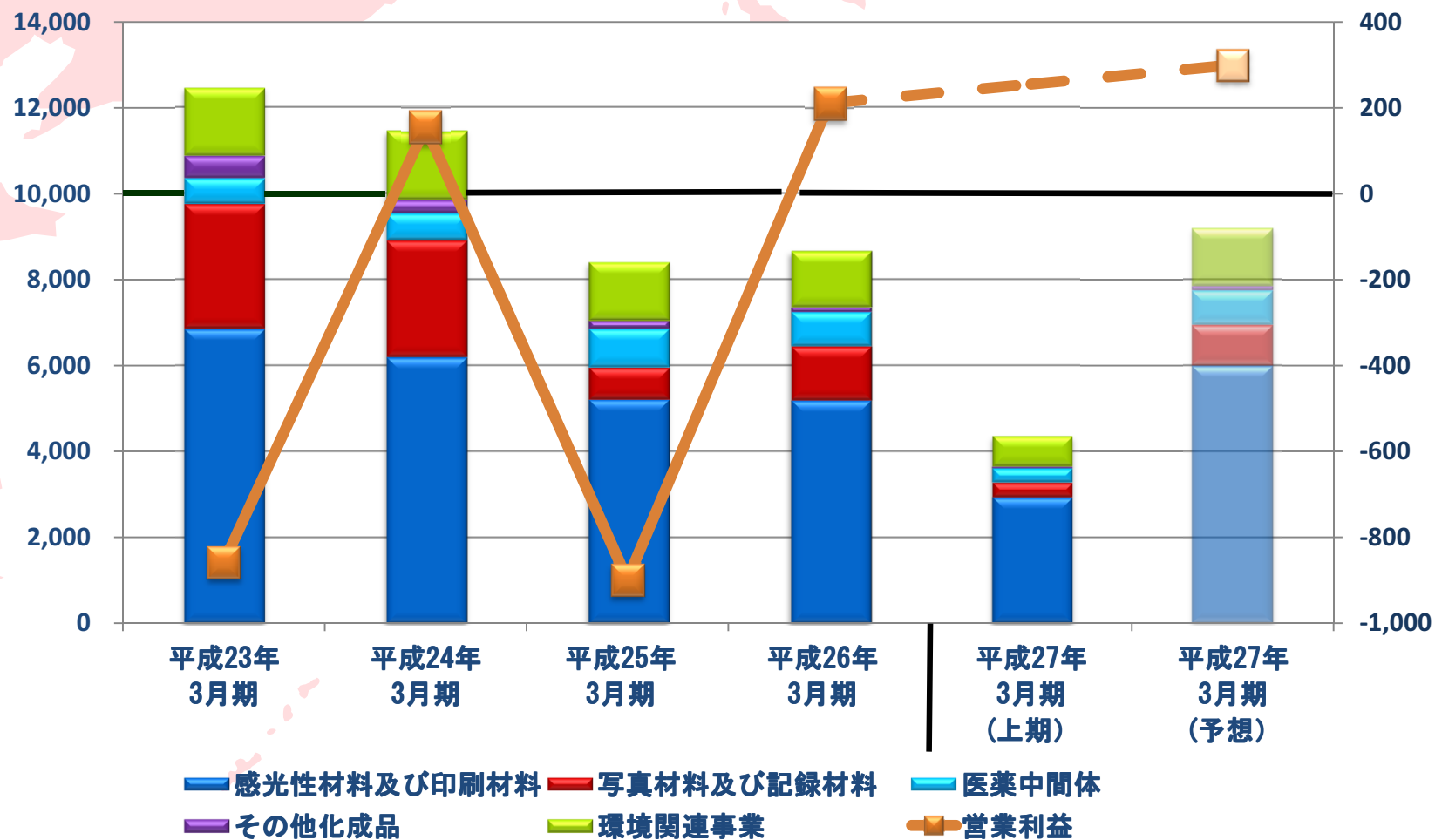
(百万円、%)

		平成26年3月期			平成27年3月期		
		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	通期予想	伸び率
売上高	化成品事業	3,607	3,746	7,353	3,653	7,850	6.8
	感光性材料及び印刷材料	2,759	2,433	5,192	2,940	6,000	15.6
	写真材料及び記録材料	500	756	1,256	343	950	△ 24.4
	医薬中間体	296	506	802	330	800	△ 0.2
	その他化成品	51	51	102	39	100	△ 2.0
	環境関連事業	637	674	1,311	716	1,350	3.0
	合 計	4,245	4,420	8,665	4,369	9,200	6.2
売上総利益		443	551	995	486	1,050	5.5
営業利益	化成品事業	△ 13	105	92	27	170	84.7
	環境関連事業	45	70	115	85	130	12.5
	消去又は全社	2	1	3	3	0	—
	合 計	34	177	211	117	300	41.9
経常利益		91	185	276	139	300	8.4
税金等調整前当期純利益		83	201	284	159	300	5.6
当期純利益		75	194	269	138	300	11.4
1株当たり配当金(円)		0	2	2	0	2	—

売上、営業利益の推移

売上高
(百万円)

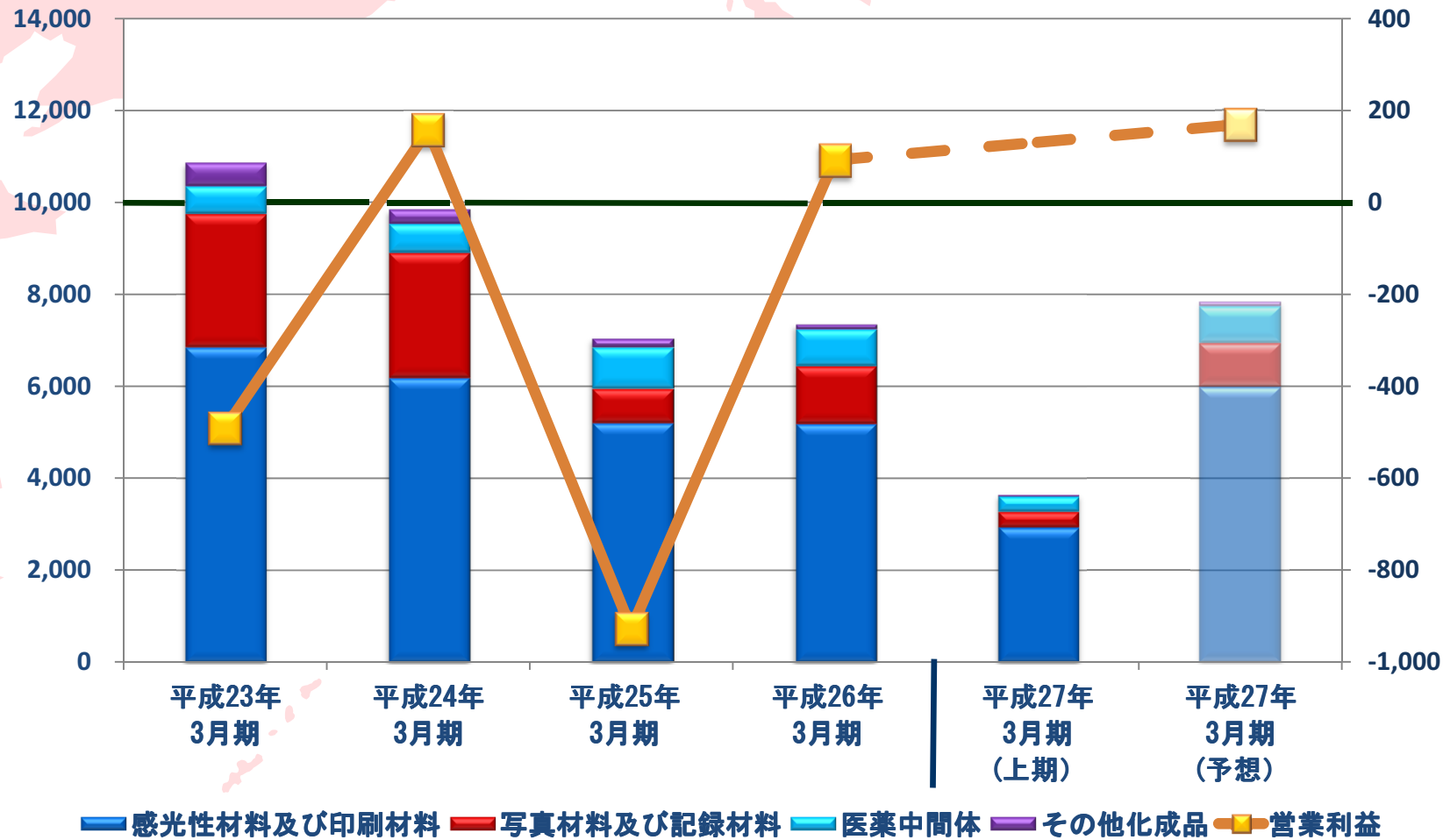
営業利益
(百万円)



化粧品事業の業績推移

売上高
(百万円)

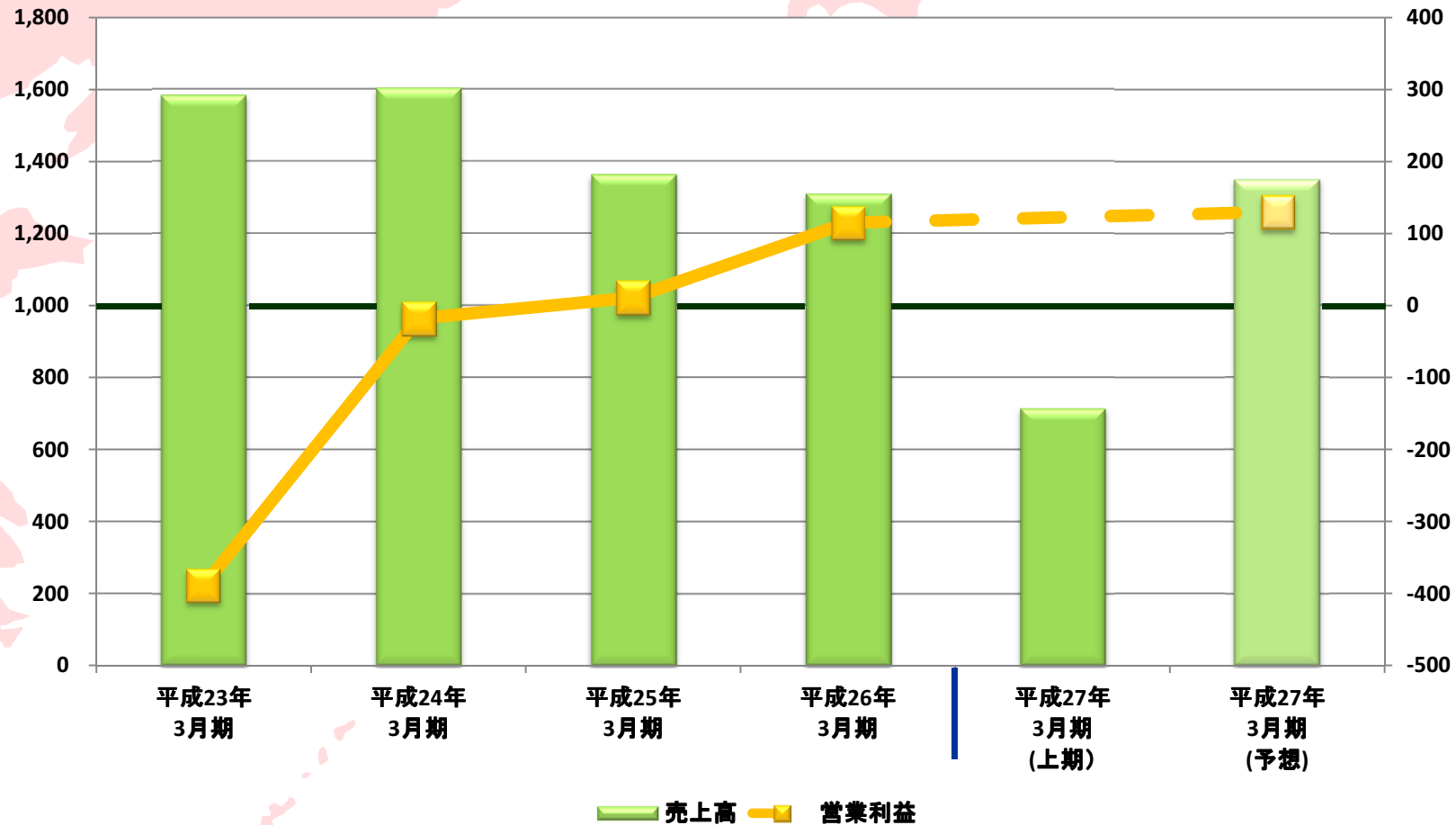
営業利益
(百万円)



環境関連事業の業績推移

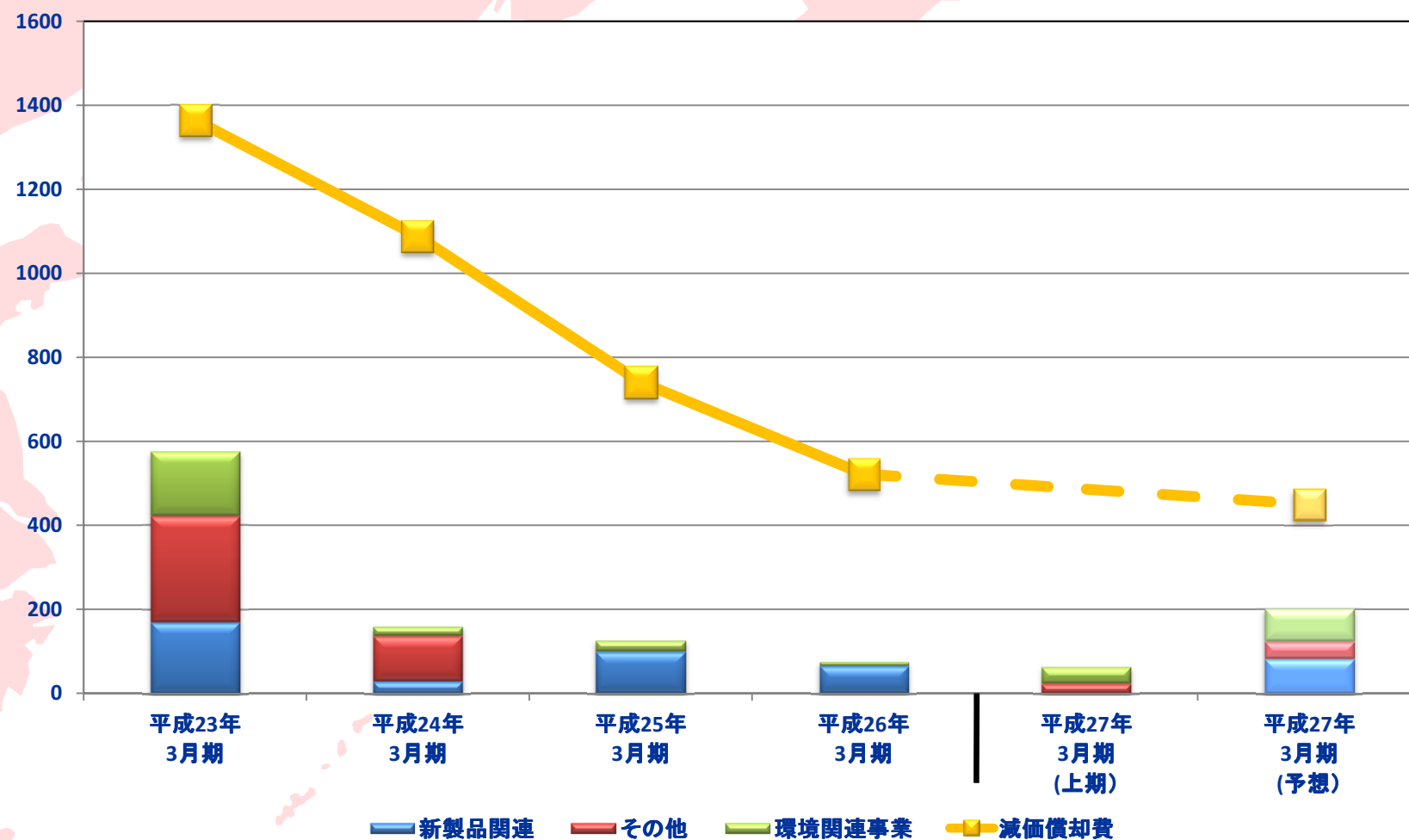
売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)



設備投資の推移

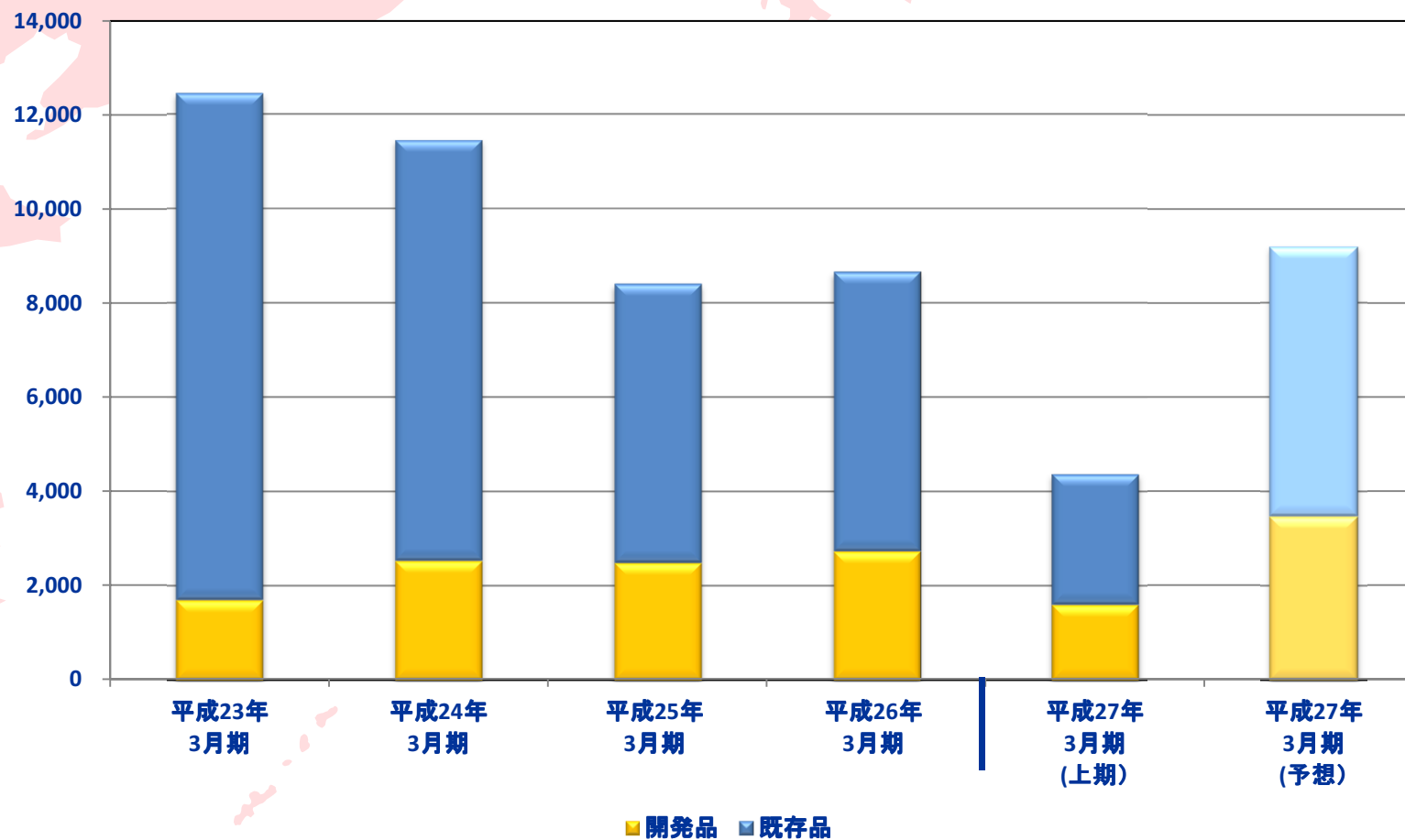
(百万円)



DA

既存品と開発品の売上の推移

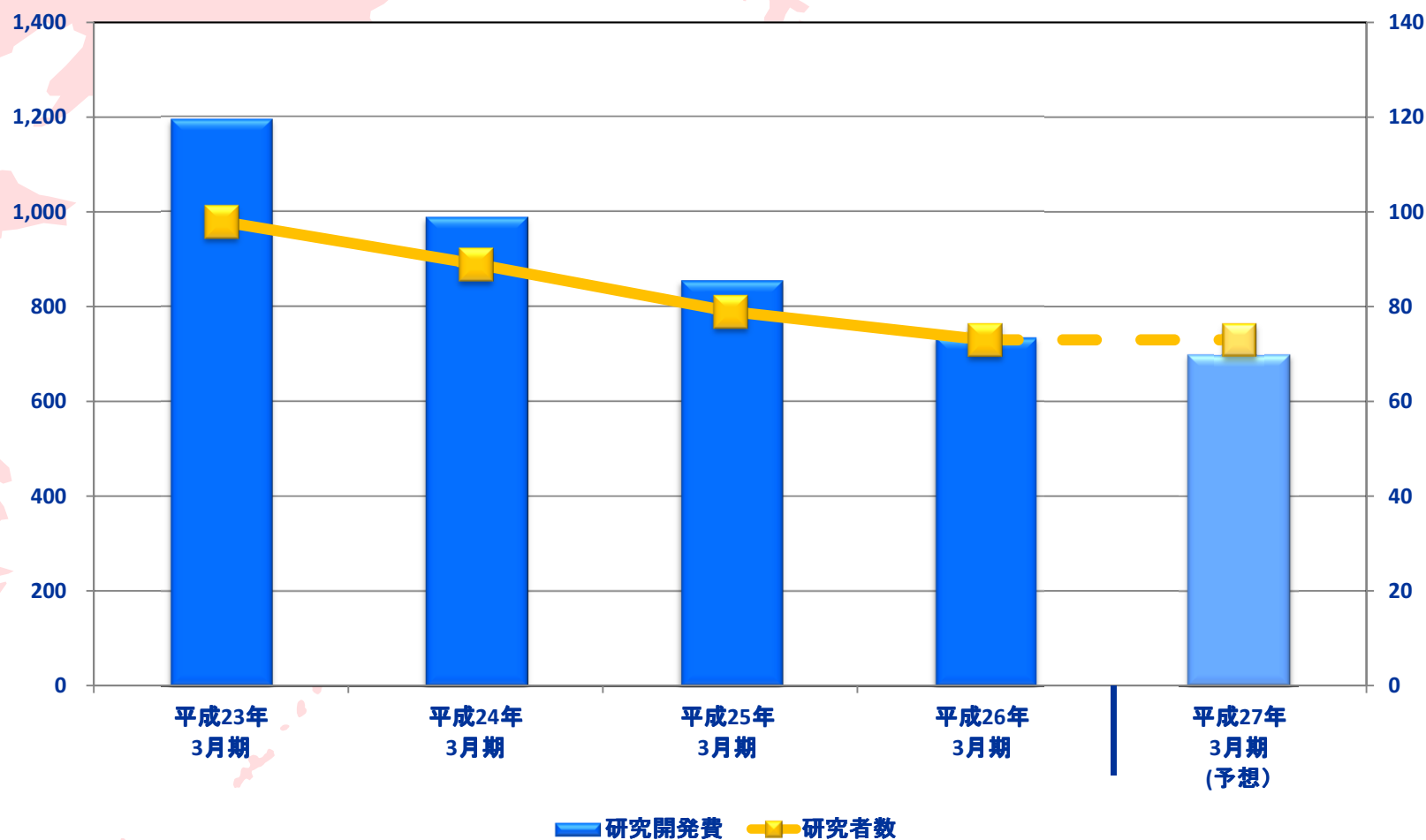
売上高
(百万円)



研究開発費・研究者数の推移

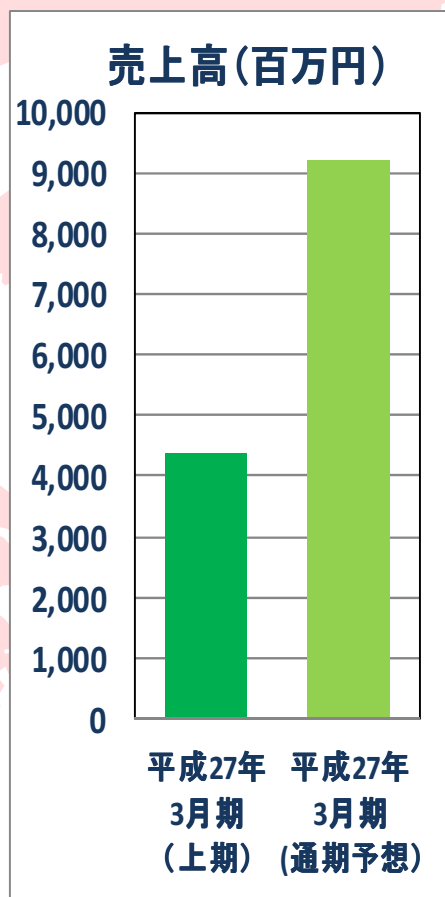
研究開発費
(百万円)

研究者数
(人)



平成27年3月期の経営計画

《収益構造を改革し、再び成長軌道にのせる》

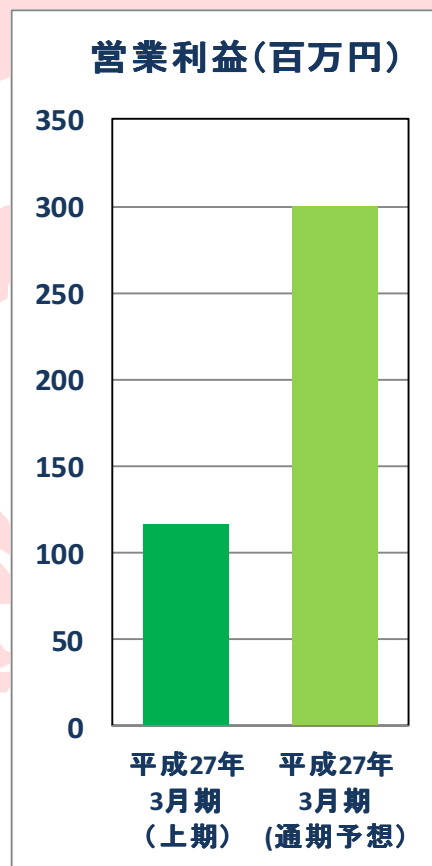


1. 上期売上高の状況(計画比)

- ・平成27年3月期の第2四半期累計期間の売上は当初計画43億円を1.3%上回り、43億69百万円となりました。
- ・感光性材料は、半導体用材料は好調に推移しましたが、液晶用材料は需要低迷により計画より売上が減少しました。
- ・写真材料は、全体的に計画より売上が減少しました。
- ・医薬中間体は、開発品において販売開始を今期予定していた製品が来期に延期になった影響もあり計画より売上が減少しました。
- ・その他化成品は、計画より売上が減少しました。
- ・環境関連事業は、一部主要顧客の工場稼働が増加し計画より売上が増加しました。

平成27年3月期の経営計画

《収益構造を改革し、再び成長軌道にのせる》



2. 上期営業利益の状況(計画比)

- ・平成26年5月13日時点では、上期は1億円の営業損失の計画でありましたが、1億17百万円の営業利益となりました。
- ・営業利益が計画を上回った要因は、売上は概ね計画どおりでありましたが、収益性の高い製品の売上比率が高まったことと、原価低減の効果等により売上総利益が増加したことによるものです。

《メモ》

DAITO CHEMIX

DAITO-KISCO Corporation

Fukui Plant

Tokyo Office

Shizuoka Plant

Head Office
Osaka Plant